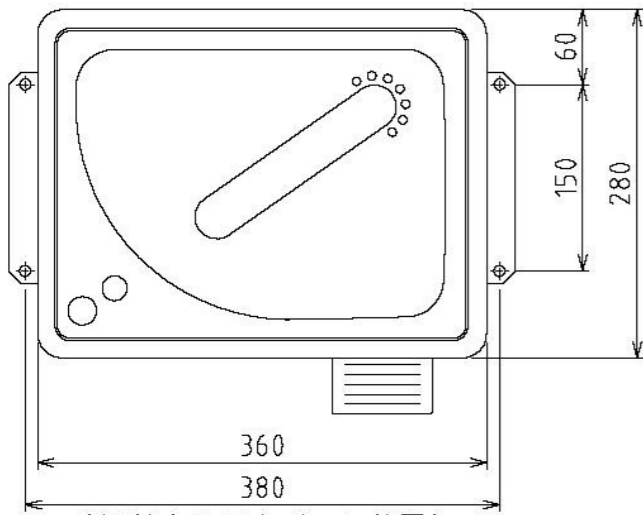
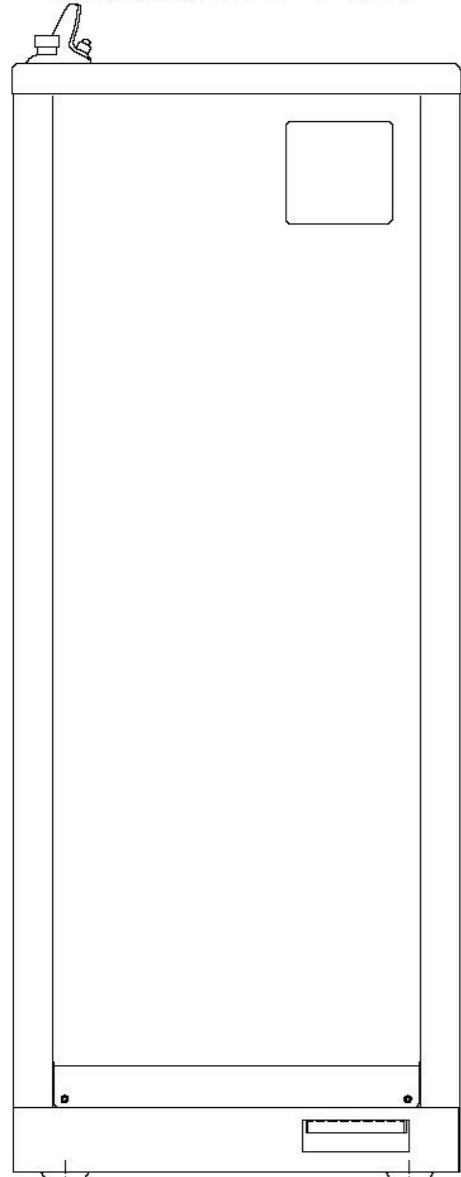


# ウォータークーラー(床置プレッシャー形)WMS-51P3 1/2

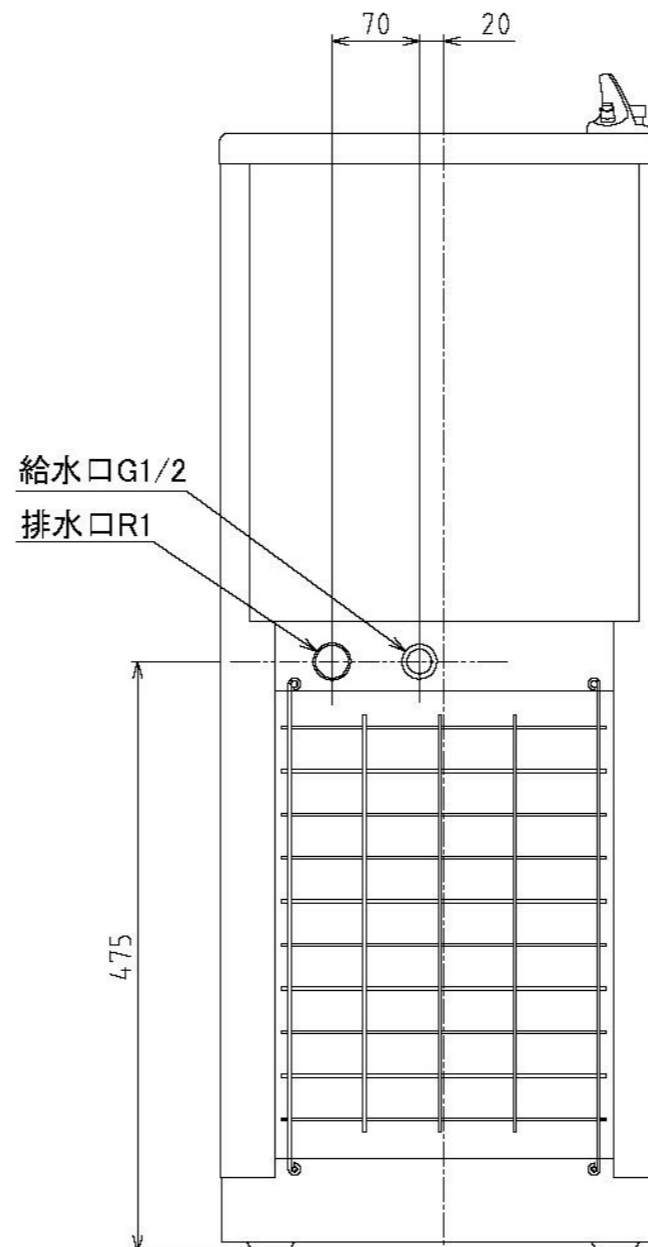
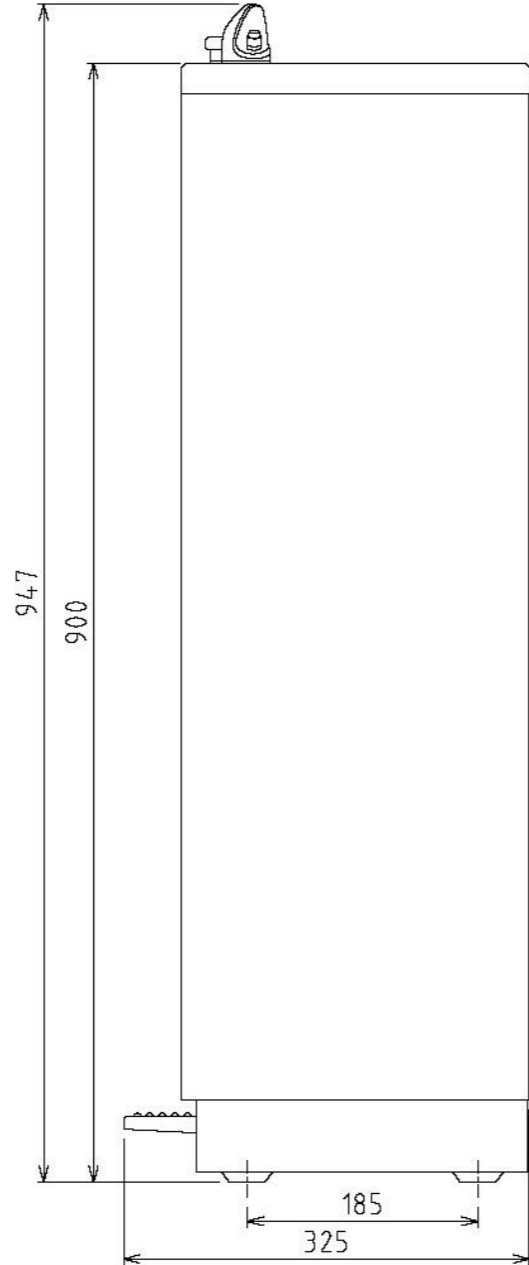
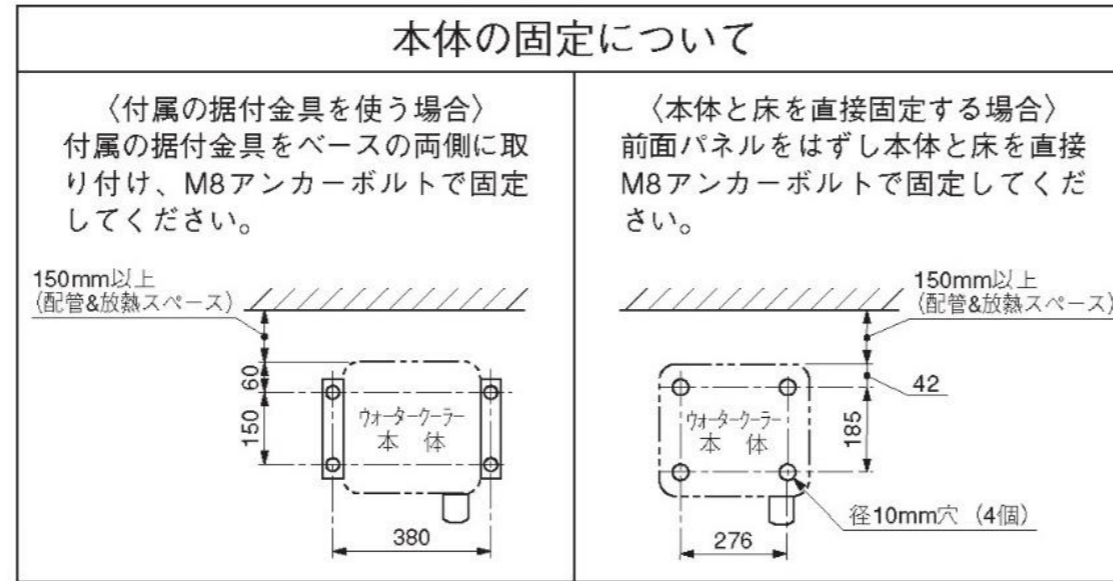
## 【外形図】



(据付金具固定ボルト位置)



(本体内固定ボルト位置)

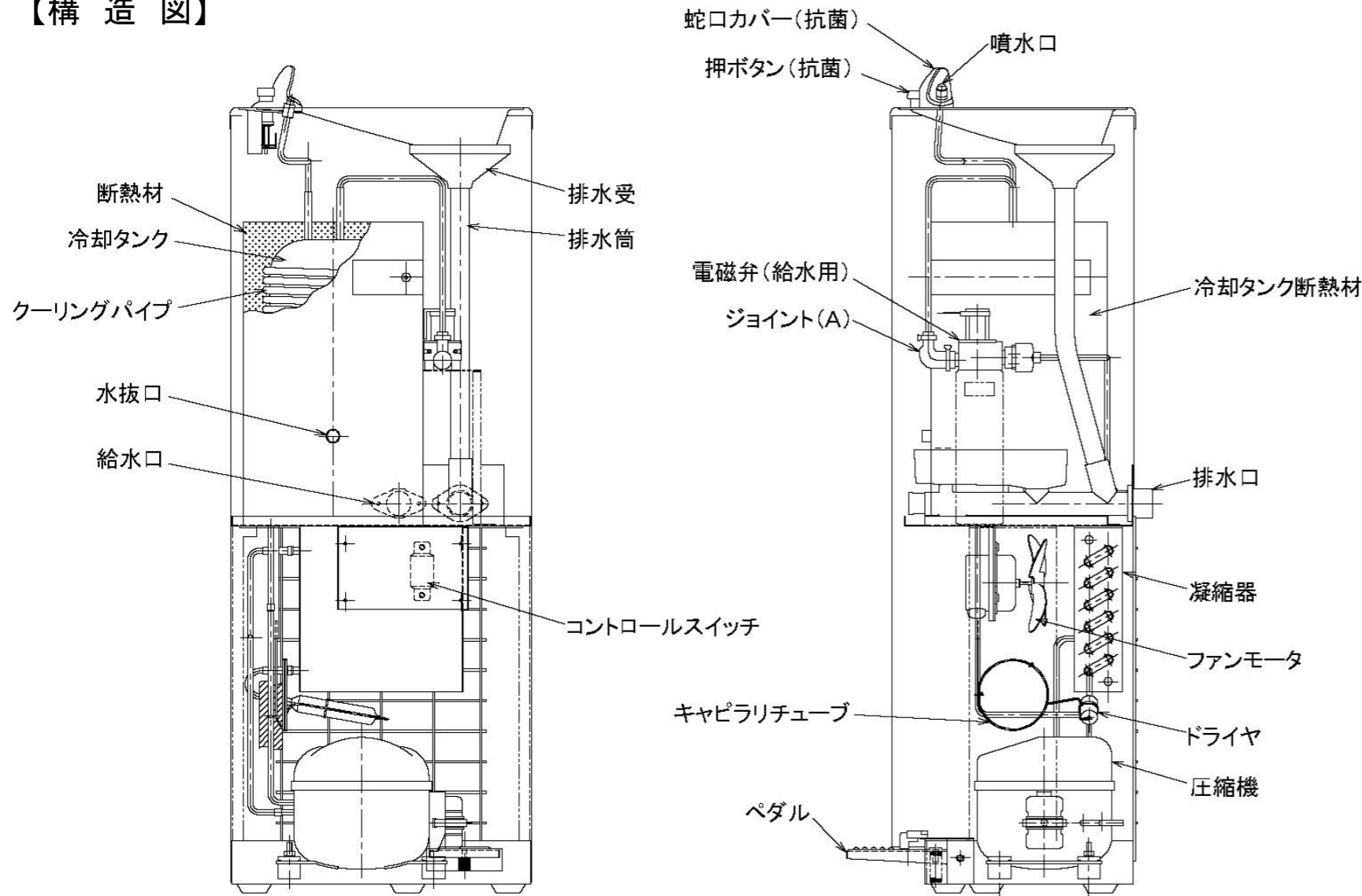


商品名		水道直結式床置プレッシャー形ウォータークーラー
外形寸法	幅	360mm
	奥行	325mm
	高さ	947mm
外観色調	排水盤	シルバー光沢
	蛇口カバー	ホワイト
	押しボタン	ブルー
	キャビネット	シティーグレー
	前面パネル	シティーグレー
外観材質	フレーム	黒
	排水盤	ステンレス鋼板
	蛇口カバー	PP樹脂(抗菌)
	押しボタン	AES樹脂(抗菌)
	キャビネット	カラー鋼板(PCM鋼板)
冷却タンク容量	前面パネル	カラー鋼板(PCM鋼板)
	フレーム	溶融亜鉛メッキ鋼板・カチオン塗装
冷却装置	圧縮機	全密閉形往復動式・出力110W
	冷媒	HFO-1234yf 115g
	凝縮器	強制空冷アルミフィン&銅チューブ式
	送風機	コンデンサランモータ 1.4W/110mmファン(凝縮器用)
	冷却器	ステンレスタンク・外周クーリングパイプ巻付
	冷媒制御	キャピラリーチューブ式
	過負荷保護装置	バイメタル式自動復帰形圧縮機用オーバーロードリレー
	水温調節	自動温度調節器(固定式)
流量調節	電磁弁内蔵フロコン(調整済)	
給水口	メネジ G1/2(ストレート)	
排水口	オネジ R1(テーパ)	
水抜口	オネジM10キャップ付き	
給水装置	給水用電磁弁	
給水操作	押しボタン(抗菌)・足踏みペダル共用	
洗浄方式	手動(水抜口開放)	
洗浄表示	なし	
運転表示	なし	
電源コード	ビニルキャブタイヤコード(機外長:2m)	
使用保証条件	外気温度	10°C~35°C
	給水温度	常温水道水
	給水圧力	0.07MPa~0.6MPa
電気特性	電源周波数	50/60Hz
	消費電力	消費電流 2.5±0.3/2.7±0.3A 消費電力 188±19/218±22W
冷水供給能力	13/14 L/h JIS C 9618「飲料用電気冷水機」による	
冷水性能	35杯目採水温度:15°C以下 (条件)外気温:30°C 給水温:25°C 35分運転後 170cc/30sec 間歇採水	
製品質量	24kg	
付属部品	据付金具(2個)・アース線	
電気用品安全法認証	S-JET認証取得	
水道法認証	日本水道協会認証取得	

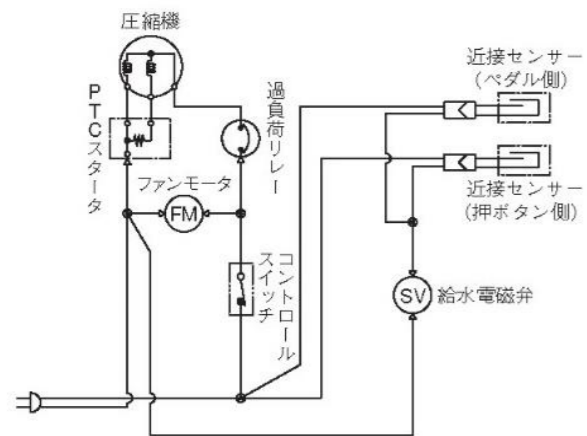
西山工業株式会社

# ウォータークーラー(床置プレッシャー形)WMS-51P3 2/2

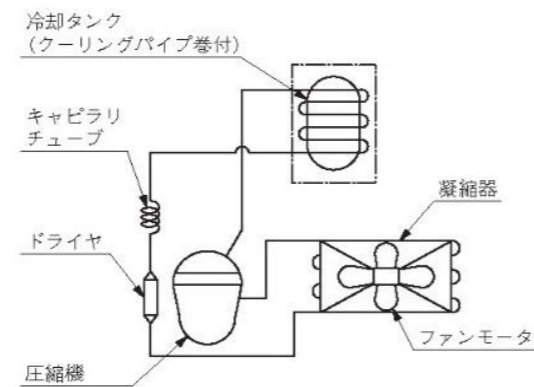
## 【構造図】



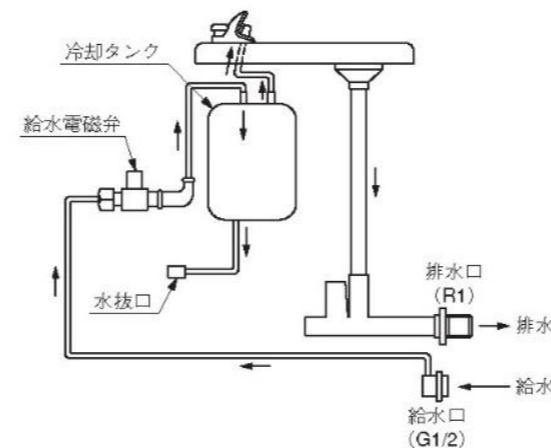
## 【配線図】



## 【冷凍サイクル図】

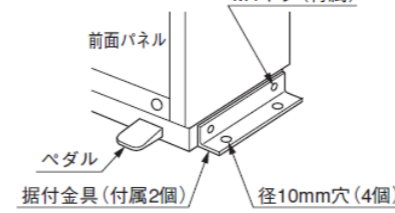


## 【水回路図】

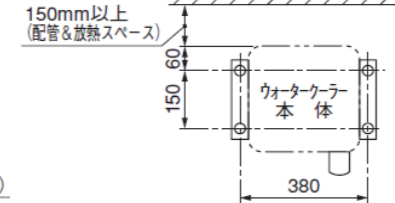


### 本体の固定について

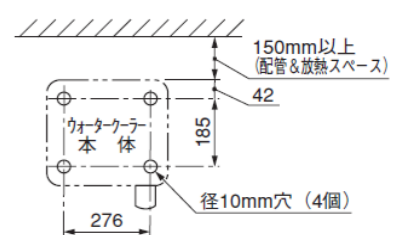
転倒防止のため付属の据付金具を使用するか、又は直接ベースと床を市販のM8 アンカーボルト等で固定してください。



〈付属の据付金具を使う場合〉  
付属の据付金具をベースの両側に取り付け、アンカーボルトで固定してください。



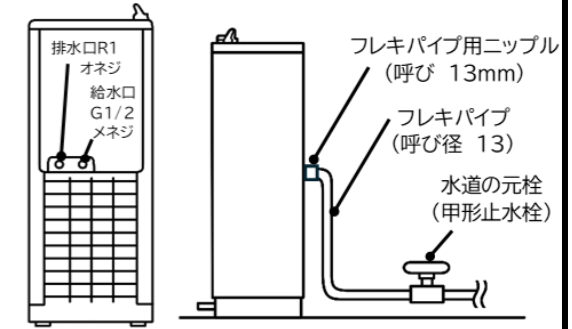
〈本体と床を直接固定する場合〉  
前面パネルをはずし本体と床を直接アンカーボルトで固定してください。



### 給水管の接続のしかた (接続する配管は付属されていません)

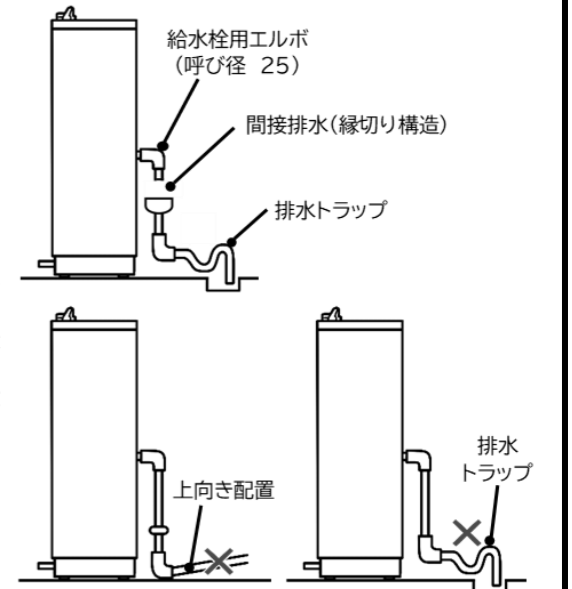
● 背面右側の給水口にフレキパイプ用ニップルを接続しフレキパイプを接続してください。  
新しく設置した配管には切り粉、砂、その他異物が入っていることがあります。  
給水口に接続する前に、十分水を通して異物を配管内から排出してから接続してください。

※ 浄水器を取付ける場合は自動洗浄付きDタイプのみに取り付け、フレキパイプの間に接続するよう配管接続してください。また浄水器を取付けた場合は噴水高さが低くなりますので、ご注意ください。



### 排水管の接続のしかた (接続する配管は付属されていません)

- 背面左側の排水口に給水栓用エルボを接続してください。
- エルボは、出口が必ず下向きとなるように取り付けてください。
- 据付面に対して、上向き配管時、排水時に抵抗が増大するような配管を行いますと、排水が追いつかず製品内部から水漏れしてしまいますので、必ず配管は平行または先下りに施工してください。
- 現地排水管の開口部とは間接排水にしてください。開口部と排水管を直接接続すると逆流により製品内に水が入ったり、湿った空気が流入し製品内部で結露し水漏れにつながります。
- 現地排水管の開口部からの臭気流入防止をする場合は、排水管にトラップ等を設けるのではなく、現地排水管側に排水ダンパ等を設置してください。どうしても、排水管にトラップ等を設ける場合は排水に支障なきよう、施工してください。
- 排水口への接続は締めすぎて、ネジバカや破損させないよう十分注意してください。



### 配管するときの注意

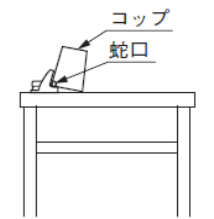
- 必ず専用の水道の元栓として「甲形止水栓」をつけてください。(寒冷地で使用する場合は、水抜機構のついた「甲形止水栓」を使用してください)

### 運転のしかた

据付が終わりましたら、差込みプラグをコンセントに差し込んで元栓を開いてください。

#### (イ) 空気抜きのしかた

ペダルを踏んでください。はじめはタンク内部の空気が水と一緒に排出され、泡立った水がでますから水だけが出るまで踏んだままお待ちください。この間は噴水高さが不規則になりますのでコップまたは湯飲み茶わんなどを蛇口にかぶせて飛散防止をしてください。このとき蛇口カバー全体を覆うようにコップをかぶせるのはやめてください。排水盤外に水が垂れるおそれがあります。空気抜きは4~5分かかります。



#### (ロ) 水圧、水量の調整について

適正水圧は0.07MPa~0.6MPaです。  
噴水の高さは排水盤から10~20cm程度が適当です。噴水の高さが高すぎるときは、給水側に設けた「元栓」の開度を調整してください。水圧が低い場合、適当な噴水高さが得られないことがあります。

